

デジタル技術活用の方向性と DX 推進体制

1、経営の方向性及びデジタル技術等の活用の方向性

- ・デジタル技術が社会や自社の競争環境にどう影響するか

一般的に DX は「デジタル技術の活用により、製品サービスやビジネスを変革し、競争力を強化する」という意味ですが、人材確保難、技術承継、収益性向上といった課題の解決方法として有効な手段であると考えております。

当医院をはじめとする個人経営の歯科クリニックにおいても、原価の値上がりや他社競合激化など市場環境が大きく変化しており、経営の安定、雇用維持に DX は欠かせないものと認識しております。また、お客様の治療期間の短縮化など医療サービスの向上につながるものであり、今後取組を加速させていく方針であります。

- ・上記を踏まえた、経営ビジョン、ビジネスモデル策定

当医院院長を中心に、人材確保難による現場の負担増加やお客様の待ち時間、来店回数といった課題と原因を抽出、従業員と一丸となり DX の取組を具体化し、これらの課題解決を図ります。また、他医院に先んじて医療 DX 化、デジタル化に取り組みます。

- ・経営及びデジタル技術等の活用の具体的な方策

DX を可能とする先進機器の導入により診療データのデジタル化を進め、機械間のデータ連携、外部医療機関や介護施設との診療データ共有を図ります。この取組により患者の身体的、費用的負担の軽減、提供する医療レベル向上に貢献します。また、医療サービスの質向上による来院者数増加に取り組みます。具体的方策としてはデジタル化に取り組む医療機器メーカーや販売代理店からの情報収集、および患者ニーズの把握に努め、導入効果を十分に検討し設備導入ならびにデジタル化を図ります。

2、戦略を効果的に進めるための体制提示

